

転職者の声

質問項目

- ① 転職を決めたきっかけ
- ② 警察官になって感じること
(前職との違いや、前職の経験がいかせれるか等)
- ③ 転職を考えている方へのメッセージ

- ① 大学生の時に警察官を目指し採用試験を受けましたが、不合格だったので一般企業に就職しました。一年程働きましたが、警察官の夢を諦められず再度受験をしようと決めました。
- ② どんな仕事でも、そこで得た「知識・技能・経験」は必ず役に立ちます。私が銀行員として働いた期間は一年半と短い期間でしたが、そこで教えて頂いた「社会人としての責任・マナーなど」は警察官としても役立っています。警察官という仕事は特殊な部分もありますが、私は一職業として変わりはないと思っています。警察官も民間企業も「仕事」というものは誰かのためにあるものだと思いますが、違いを言うのであれば、その職に求められる誇りだと私は思います。
- ③ 警察官は、大卒と高卒で試験区分は分かれています。将来進むべき道に学歴は関係ありませんし、入ってからは実力勝負です。自分自身が頑張れば頑張った分だけ評価してもらえますし、勉強すれば昇任も出来るので、平等な職場だと思います。(給与や昇任資格の年数には経歴による違いがあります)



前職：銀行員
約1年勤務
23歳のときに転職



前職：調理師(和食料理店)
約3年勤務
22歳のときに転職

- ① 小さい頃から警察官に憧れがありましたが、もうひとつの夢であった調理師になることを決めました。しかし、調理師をしながらも、警察官という夢も諦められないでいる時に映画「踊る大捜査線」を見て、「やっぱり警察官になりたい」という気持ちが強くなり、転職を決めました。
- ② 一番感じたのは社会的信用があることです。(住宅ローンの契約などに関しては困らなかった)警察官はしんどいことや辛いことも多い職業ですが、調理師では感じられなかった「誰かの役に立っている」という充実感・達成感があります。元調理師の取調べを担当した時は、調理師あるあるで話題には困りませんでした。前職で経験してきたことは、警察官になっていかに活かすことが出来ています。
- ③ 自分に「警察官の仕事が務まるのか？」と不安もあると思います。警察官の仕事は大変ですし、泣きたくなるときもあります。ですが、警察官という仕事は一生を賭ける仕事だと思っています。思い切って一歩を踏み出してみてください。私は転職して警察官になったことを後悔はしていません。

- ① 前職を楽しんではいましたが、「地元県で働ける、女性でも長く働ける公務員、他の公務員より多様な人と接することができておもしろそう」というポイントから警察官を選びました。
- ② 私自身、警察官とはかけ離れた業種から転職をしましたが、前職で経験したプログラミング知識やパソコン操作のような事務スキル面でも、色々な人と一緒に働く協調性という精神面でも経験がいかせれたと思います。前職で経験したことは必ずいかに活かすことが出来ると思います。
- ③ 長く働きたいという気持ちがある女性にとっては、仕事のやりがいに加え、職場の福利厚生制度は必須です。警察官はその制度が整っていると思います。



前職：出版業
約3年勤務
25歳のときに転職



前職：市役所
(非常勤嘱託職員)
約4年勤務
27歳のときに転職

- ① 警察官を強く志望したわけではなく、転職する際に掲げた条件は「自分の専門性(心理学の知識)をいかすことができる」「正規職員として勤務することができる」の2つで、それを満たしていたのが警察官採用試験の「心理区分」だと思いました。
- ② 前職は障がいのある児童やその親御さんの支援を行う仕事をしていましたが、その経験が今の仕事にいかせられているとは言い切れませんが、心理学の知識は様々な場面でいかすことができます。(被害者の対応など)また、前職と比べて給与の安定・高さ、福利厚生の手厚さは前職と比較ならないものでした。前職では「将来どうなるんだろう？」という不安を抱えていましたが、その不安から解放されたことは、給与が増すより自分にとって大切なものでした。
- ③ 警察官は給与及び福利厚生がしっかりしています。転職を考えている人なら「それは理解しているよ」という方がほとんどだと思いますが、このセールスポイントは私にとって大きかったです。人間は自分の置かれている状況が安定してこそ、人のために働くことができ、それが自分の将来や家族の幸せに繋がるのだと思います。



兵庫県警察

